

令和6年1月 第1068号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報紙  
発行所：方面総監部広報室  
住所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446

# 謹賀新年



東部方面総監 陸将 冨樫 勇一

まずはじめに、元日に発生した能登半島地震で、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々にお見舞い申し上げます。

昨年三月に第四十三代東部方面総監を拝命し、早九カ月が経過しました。この間、全隊員が一丸となつて「強靱な東部方面隊の創造」に向けて取り組んで参りました。

日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、陸上自衛隊の活動に対する皆様からのご支援は大変心強く感じております。引き続き、東部方面隊に対するご理解とご協力のほどよろしく願います。

本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう祈念申し上げます。



東部方面隊 最先任上級曹長  
准陸尉 大久保 剛



# 第一師団長 陸将 兎玉 恭幸



第一師団 最先任上級曹長

准陸尉 中村 元則



## 「戦う？」13.2%

第一師団の隊員諸官、ご家族の皆様、そして平素からご支援ご協力を頂いている地元の皆様、新年あけましておめでとうございませう。

さて「世界価値観調査」をご存じでしょうか？昨年春頃、ネットニュースなどで話題を集めました。「もし戦争が起こったから国のために戦うか？」という問いに対して、「はい」と答えた日本人は13.2%。世界79か国中ダントツの最下位でした。日本は「はい」が一番少ないだけではなく「わからない」が38.1%と世界で最も大きい値を示しています。

ロシアによるウクライナ侵攻から約2年、終戦や停戦の見通しは未だに立っていません。ウクライナの「はい」56.9%。56.9%の国民が戦う意思を示した状況でロシアの侵攻を受けたわけですが、ウクライナ国民の大半が国内にとどまり戦っていません。侵攻が始まって以来約790万人のウクライナ国民が国外に避難しましたが2022年中にその半数が国内に戻り、現在の国外避難者は約400万人。全国民の9割が国内に留まっていることになりました。軍人として実際に戦っているのが数十万から百万人程度でしょうから、その他の約3500万人が農林水産業を含むライフラインを整え、産業・経済を動かす国家財政を支えて、ゼレンスキー政権の政治外交を後押ししているということになります。

昨年9月26日の日経新聞の記事によると、8月2日にウクライナの首都キーウを訪問した財務省の神田真人財務官の一行が見たのは、空襲警報が断続的に鳴り響き爆撃の跡が見られ戦時の緊迫感を感じないものの、スーパーマーケットには生鮮食料品が整然と陳列され市民も落ち着いて買い物している姿でした。22年秋に25%を超えたインフレ率も10%程度に落ち着いています。先進国でも高いインフレ率に悪戦苦闘しているのに、戦時下のウクライナが物価をそれなりに制御できているのは想定外で印象的だったと同行筋は述べています。

「戦う」とは銃を持って戦闘するだけではありません。「はい」と答えた56.9%のウクライナ国民だけではなく9割の人々が国内に留まりました。そして、自分の仕

事を侵攻前と変わらずしっかりとやっています。これによって生活のためのライフラインは維持され、経済が回り、国家財政は維持されて外交交渉を行い、軍隊は戦闘が可能となっていてロシア軍の侵攻を阻止し反撃に討って出ているのです。

軍人はどの国でも国民の10%もいません。「戦う」という意味が「銃を持って戦う」ことであれば13.2%でも十分なのです。日本以外の国は「戦う」とは「自分のできる事で国に貢献する」ことだと知っているのです。自分が軍人になって戦うことではないと分かっている人たちが「自分のできる事で国のために貢献する」という意味で「はい」と答えているのです。

第一師団の担任する1都6県には4400万人の国民がおります。「自分の国のために戦いますか」と問われて「わからない」と答えたのが38.1%ですから、「わからない」と答えるであろう国民が1700万人担当地域内に住んでいることになりました。学校等では我が国防衛等に関する授業を受けることも少ないでしょうし、自衛官と接する機会も少ない方々ではないかと察します。この1700万人の方々に「戦う」とは、自分のできる事で国に貢献することだと伝えていくことも第一師団長の重要な任務だと思っています。

第一師団では「毎日が訓練公開日」と宣言し、いつでも短時間の訓練見学に対応させていたたいです。是非とも身近なご友人を訓練見学にお誘いください。ただし、準備した訓練展示は致しませんので接し、至らない点がある場合はご了承ください。その代わり、各部隊・隊員が真剣に訓練に取り組んでいる姿を横からこっそり覗いていただき、自衛官が本気で日本の防衛に向き合っている姿勢を感じて頂ければと思います。そして、この自衛官と同じことは出来ないけれど、自分のできる事で国に貢献しようと思っただけのキッカケとなれば幸いです。

結びに、刻々と厳しさを増す令和6年、隊員家族の皆様、協力諸団体の皆様並びに地域の皆様、更なるご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 第十二旅団長 陸将補前島 政樹



## 統率方針

## 「使命の完遂」

## 要望事項

## 「即応力の強化」「安全・健全」



## 第十二旅団最先任上級曹長

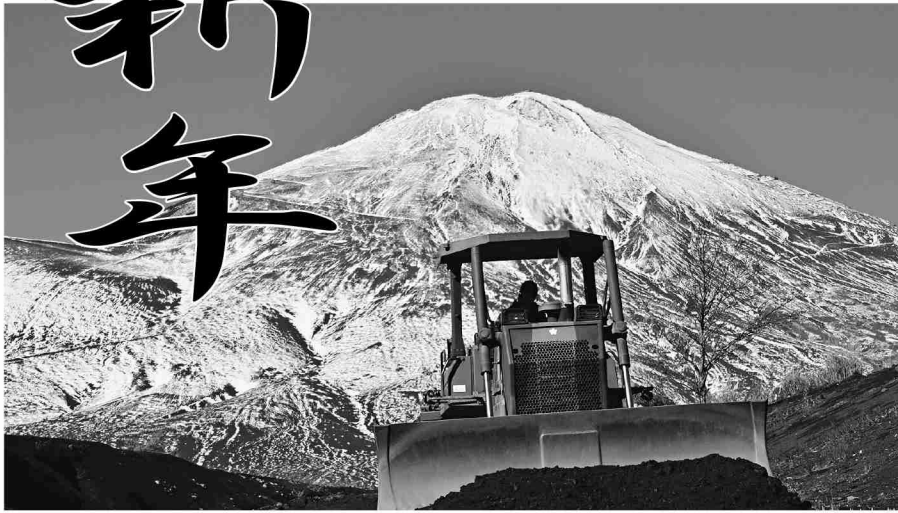
## 准陸尉 伊澤 芳明



### 年頭の辞

隊員諸官、ご家族の皆様、平素からご支援・ご協力頂いている協力諸団体等及び地域の皆様、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては希望に満ちた新年をそれぞれで迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年、猛威を振るったコロナウイルス感染症の5類移行により、社会生活環境がパンデミック以前の姿に戻りつつある中、旅団は各種訓練を計画的に実施して強靱な部隊としての実力を維持・向上するとともに、4年ぶりに第十二旅団創立及び相馬原駐屯地創設記念行事を一般公開により開催することができました。隊員諸官の真摯な努力に敬意を表するとともに、ご家族皆様のお支えと協力諸団体等関係各位のご理解・ご協力に謹んで感謝します。

第十二旅団は日本で唯一の空中機動性を高めた作戦基本部隊としての使命を完遂するため、あらゆる事態に対応し得る即応力を強化するとともに、部隊・隊員の安全を確保し健全性を保持した、あらゆる任務を完遂し得る強靱な部隊を育成して皆様のご期待に応えることをお誓い致します。新しい年が皆様にとって、素晴らしい年となるよう心より祈念申し上げます。



謹賀新年

# 第一施設団長

陸将補 安田 百年



# 第一施設団最先任上級曹長

准陸尉 芦谷 知宏



## 年頭の辞

第一施設団の隊員諸官、ご家族の皆様、平素からご支援・ご協力頂いております関係協力団体の皆様、地域の皆様及びOBの皆様、あけましておめでとうございます。

昨年、一月及び二月の鳥インフルエンザ発生に伴う災害派遣、二つの国際任務（①東ティモール能力構築支援、②ジブチ災害対処能力強化支援）、作戦遂行能力向上のための演習・訓練、春季・秋季演習場定期整備等に、第一施設団隊員一同、取り組んで参りました。

第一施設団は、方面隊の施設力の骨幹として、隊員一同、「ワレンチム」の精神をもって各種任務・訓練等に積極果敢に取り組み、その使命を果たす所存でありますので、今後とも何卒宜しく御願い申し上げます。

最後に、本年が関係者皆様にとりまして、幸多き素晴らしい一年となりますよう、心より祈念申し上げます。

# 謹賀新春



関東補給処長  
陸将 柿野 正和



関東補給処 最先任上級曹長  
准陸尉 小林 健太郎

## 年頭の辞

隊員並びにご家族の皆さま、そして平素からご支援ご協力を賜っている関係諸団体の皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年、関東補給処は開設25周年の節目を迎え、処員一同「プロを支えるプロ」としての矜持を再確認した年でありました。また、統合防災演習、南トラ実動訓練や兵站・衛生訓練を通じて各種事態等への対応に万全を期すとともに、多岐にわたる任務にあたってまいりました。

引き続き、関東補給処が陸上自衛隊の兵站の要であるという自覚、そして誇りと情熱を胸に、処員一人丸となり任務に邁進する所存です。

本年が皆さまにとって、素晴らしい年となりますことを心より祈念申し上げます。

# 部隊長 年頭の辞

## 第二高射特科群長 西永 正孝 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。旧年中に賜りました我々に対するご理解と協力を厚く御礼申し上げます。

混成団は、陸自最大の即応予備自衛隊を擁して神奈川警備隊を担任するとともに、全方面隊でも多くの准曹士隊員等を育成する教育部隊として任務遂行の原動力となる人材を日夜育成しております。

本年も、良き伝統を継承・創造し、変化に適合・挑戦する混成団として全力で任務に取り組む所存です。新年が輝かしい一年となりますよう祈念申し上げますとともに、引き続きご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

## 東部方面特科連隊長 水越 洋光 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年12月に第2代連隊長を拝命いたしました。平素より特科連隊に対するご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年3月、第1特科隊(北富士)と第12特科隊(宇都宮)の要員を基幹として連隊は新編され、第1団・第12旅団への火力協力、防衛警備、災害派遣、国家行事支援等の任務を遂行するため、戦力化完整に向けて邁進して参りました。

本年も方面隊唯一の特科部隊としての誇りを堅持し、如何なる任務にも対応できるよう日々厳しい訓練・勤務・指導を行うとともに、工夫をもちて有事への「備え」を創造し、伝統ある部隊の育成に全力を注ぐ所存であります。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 富士病院長 長川 真治 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ後として社会全体は通常モードに戻りましたが、コロナ禍の生活で抑えられていた季節性インフルエンザの夏以降での蔓延もあり、感染症に対応しつつ通常医療体制に戻した一年でした。また、一昨年末に発表された安保三文書の中で衛生機能の変革があげられ、富士病院は今中期末までに大きく形を変える予定となりました。

このような状況の中で、方面唯一の病院として、職員一丸となり未来を見据えながら本年も任務に邁進する所存です。引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 東部方面混成団長 大場 勇 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ後として社会全体は通常モードに戻りましたが、コロナ禍の生活で抑えられていた季節性インフルエンザの夏以降での蔓延もあり、感染症に対応しつつ通常医療体制に戻した一年でした。また、一昨年末に発表された安保三文書の中で衛生機能の変革があげられ、富士病院は今中期末までに大きく形を変える予定となりました。

このような状況の中で、方面唯一の病院として、職員一丸となり未来を見据えながら本年も任務に邁進する所存です。引き続きご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 東部方面衛生隊長 松田 桃子 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年はワクチン大規模接種会場の完遂、平常の隊務へ移行し、各種救護支援、身体検査支援等の各部隊のニーズに最大限心えられるよう衛生支援に参りました。また、4年振となる方面隊検閲を受閲するに当たり、多大なご支援を頂いたことにこの場をお借りして御礼申し上げます。

本年も隊員一同「ひとつ上を目指す」衛生隊として更なる技術の錬磨に励むとともに「強靱な東部方面隊の創造」に寄与できることへの矜持を忘れず精進努力してまいります。

本年もよろしくご祈念申し上げます。

## 東部方面後方支援隊長 弓場 信行 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年3月に方面特科連隊の新編に伴い、後支隊に18番目の部隊として第306特科直轄支援中隊(北富士)が新編されました。新たな部隊を含め、日々各種支援任務を完遂することができました。皆様のご支援・ご協力と各隊員の献身的な働きによるものと深く感謝申し上げます。

本年2月には方面訓練検閲(首都防衛作戦)における兵站支援)を初めて受けます。昨年より民間人が混在する中で如何に支援するかを訓練してきました。その結果を十分に発揮するとともに、検閲を機に引き続き「いかなる状況下においても、方面隊の任務達成に寄与できる強靱な野戦兵站支援部隊」を目指し今年も全力を尽くします。

## 東部方面航空隊長 佐藤 健 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

平素より東部方面航空隊に対し格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は各種任務を遂行しつつ、統合訓練への参加や航空隊長訓練検閲の実施により、先進的で強靱な航空隊となるための訓練を重ねて参りました。また、立川駐屯地創立50周年記念行事を4年ぶりの一般開放により滞りなく執り行い、隊員士気の高揚と地域の理解促進を図ることができました。

本年も皆様のご期待に応えられるよう、全隊員一丸となって責務を完遂する所存です。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 東部方面システム通信群長 山口 賢二 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

平素より、東部方面管内35個駐分屯地に所在する東シ通信の様々な活動にご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年は、災害派遣等による任務を遂行するとともに、即応態勢を維持しつつ、各種訓練の場を活用したICT技術の普及及び民生品の活用により部隊のICT化を促進し、練度向上に努めてまいりました。

本年も首都防衛のシステム通信を担う部隊として更なる向上を図り、職務に邁進していく所存です。本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますよう祈念申し上げます。

## 東部方面音楽隊長 酒井 伊知郎 二等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、訓練検閲の受閲をはじめ、聴衆の心を掴むための創意工夫を図った企画構成等を追求し、部隊一丸となって各種演奏任務を完遂することができました。音楽は「音と時間を使う再現性の芸術作品」だと云われます。

本年も、時間を大切に「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた部隊の強化を目指すとともに、部隊の實力を更に向上させて自衛隊に対する国民の信頼・理解をより一層獲得し、東部方面隊の任務遂行に必要な基礎的・継続的な発展に寄与し得るよう、全力で職務に邁進する所存です。

## 東部方面總監部付隊長 中嶋 豊 三等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

新春を晴々しい気持ちで迎えたいこととお喜び申し上げます。平素より、總監部付隊に對しまして格別のご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、總監部に対する業務支援、管理・輸送の各分野において、支援任務を大過なく完遂することができました。

本年も、「生き生き躍動」「助け合いの心」を合言葉に、總監部を縁の下の方持ちとしてしっかり支え、いづいかなる任務が与えられようとも完遂していく所存であります。今後とも変わらぬご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## 東部方面情報処理隊長 大内 泰裕 二等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

平素より、東部方面情報処理隊に對し格別のご厚情を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、不安定さを増す国際情勢、自然災害等への対応に関する各種情報業務を完遂して参りました。

本年も、東部方面隊の任務達成に最大限寄与すべく、隊員一丸となって、精進努力する所存であります。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 東部方面指揮所訓練支援隊長 降旗 慎生 一等陸佐



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新ICEサービスを運用開始された初年度でのBCTC訓練及びGCS訓練等を帯に部隊のニーズに対応することを意識して支援して参りました。

本年も、部隊の指揮幕僚活動、中でも諸職種協同及び戦闘力の組織化に係る事項の向上に寄与することにより、強靱な東部方面隊の創造のため最大限に寄与する所存であります。我々を存分に活用していただくようお願い申し上げます。

最後に国内外情勢が極めて厳しい中ではありますが、皆様にとりまして今年が幸福で充実した年となることを祈念申し上げます。

明けておめでとうございませう。昨年8月に方面会計隊長職を拝命いたしました。21駐屯地に所在する各会計隊が整備された会計業務及び支援を行えるのも、駐屯部隊の皆様のご協力の賜物であると感謝申し上げます。安保三文書の発出により防衛予算が大幅に増額され、貴重な予算を有効に執行する会計業務の責任は従来にも増して重いのがあると思っております。万事は被支援部隊の作戦を基準として、適時適切な会計支援を行えるよう隊員一丸となって尽力して参ります。本年もよろしくご祈念申し上げます。

# 方面隊63周年記念行事



方面隊は2月11日及び12日、朝霞駐屯地等において方面隊創立63周年記念行事を挙行政した。11日は優秀隊員招待行事、方面音楽まつり、歴代総監会同を、12日は総監感謝状贈呈式、祝賀式典、祝賀会食をそれぞれ実施した。祝賀式典（観閲式）では、駐屯地北グラウンドにおいて計13コ直轄部隊、総勢約560人の隊員が整列する中、巡閲、総監式辞、16式機動戦闘車や03式中距離地对空誘導弾等の走行展示、対戦車ヘリコプター等の飛行展示を実施し、方面隊の威容を示した。



# 東部方面隊

## 2023年を振り返る

### 大規模接種会場任務終了



方面隊は3月26日、東京大規模接種会場（千代田区大手町）において防衛大臣、防衛大臣政務官、統合幕僚長隣席の下、自衛隊東京大規模接種会場任務終了式を実施した。大規模接種会場は令和4年1月31日に運営が開始され、5年3月25日までの間に420日運営し、約34万人にワクチンを接種した。

### 東部方面特科連隊新編



方面隊は3月16日、北富士駐屯地において第1特科隊及び第12特科隊の廃止に伴い、東部方面特科連隊の新編行事を実施した。初代特科連隊長には富永1佐が任命され、編成完結式を実施した。総監は訓示において「方面隊唯一の火力戦闘部隊としての戦い方を確立せよ」「戦力化の更なる促進」の2点を要望した。

### 災害派遣



施設団は2月3日から15日までの間、茨城県八千代町及び坂東市で発生した鳥インフルエンザ災害派遣を実施した。派遣部隊は約180人の24時間態勢で実施し、8日には八千代町、15日には坂東市の派遣活動を終了した。また旅団は4月24日から27日までの間、群馬県沼田市で発生した山林火災に係る災害派遣を、5月4日に、長野県諏訪市で発生した山林火災に係る災害派遣を実施した。

### 予備自中央訓練



方面隊は5月26日から30日までの間、朝霞駐屯地、富士地区、市ヶ谷駐屯地等において予備自衛官中央訓練を実施した。今年度は第32普通科連隊第5中隊が訓練招集部隊を担当し、全国の各地方協力本部が選出した予備自衛官57人が参加した。また28日の総合訓練を陸幕長及び総監が視察した。

### 演習場整備



方面隊は4月11日から27日までの間、東・北富士演習場、5月9日から19日までの間、相馬原・関山演習場において令和5年度方面隊春季演習場定期整備を実施した。また10月23日から11月1日までの間、相馬原・関山演習場、11月4日から12日までの間、北富士演習場、11月9日から18日までの間、東富士演習場において令和5年度秋季演習場定期整備を実施した。

### 富樫総監着任



第43代東部方面総監に富樫 勇一（とがし ゆういち）陸将が3月30日付で第2師団長から着任した。総監は着任の辞において「強靱な東部方面隊の創造」を統率方針とし「万事作戦を基準」を要望した。

### 方面隊訓練検閲



東部方面音楽隊は9月2日、東京文化会館（台東区上野）において、第80回定期演奏会を実施し、本定期演奏会の場を活用して東部方面隊訓練検閲を受閲した。また11月10日から15日までの間、東部方面衛生隊及び東部方面会計隊は、令和5年度第2次方面隊訓練検閲を受閲した。各受閲部隊は日頃の訓練成果を遺憾なく発揮し、任務を完遂した。

### 05JXR



方面隊は6月26日から30日までの間、令和5年度自衛隊統合防災演習（05JXR）に参加し、南海トラフ地震対処における指揮幕僚活動を演練して、陸災南海東方面隊としての対処能力を維持・向上させるとともに、災害対処計画の検証及び実効性の向上を図った。

### 東ティモール能力構築支援



方面隊は8月22日から9月30日までの間、豪陸軍が主催する東ティモール民主共和国における能力構築支援「ハリィ・ハムトゥック」に派遣された。派遣隊員は第101施設器材隊、第1施設団本部付隊、東部方面後方支援隊、第34普通科連隊及び第31普通科連隊の他、武器学校からの合計15人で編成され、交通作業班、車両整備班及び通訳班に分かれて活動した。



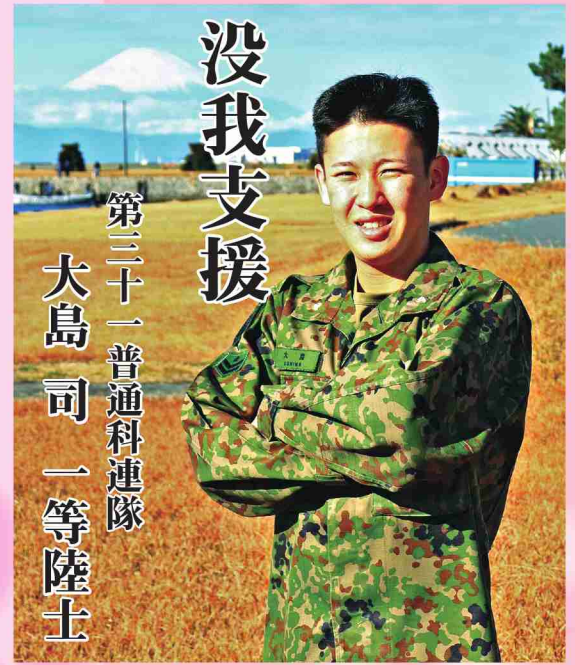
勇壯果敢

第一普通科連隊  
森川 翔太 二等陸曹



飛躍

関東補給処システム技術課  
永吉 夕希菜 事務官



没我支援

第三十一普通科連隊  
大島 司 一等陸士

2024年  
東部方面隊 新年幕開け  
新たな決意で任務に邁進



天真爛漫

第十二通信隊  
山田 花那 陸士長



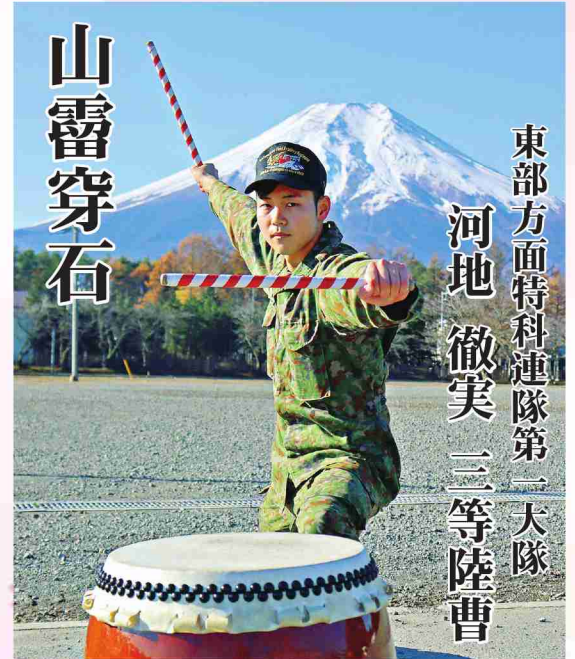
自他共栄

第四施設群  
小向 幸四郎 二等陸曹



健康第

東部方面航空野整備隊  
藤田 有梨 二等陸曹



山雷穿石

東部方面特科連隊第二大隊  
河地 徹実 二等陸曹



純真無垢

第二〇二野外病院隊  
戸森 彩乃 二等陸曹



好機  
逸すべからず

第十二化学防護隊  
須藤 海理 一等陸士



七転八起

第一後方支援連隊  
山田 瑞希 一等陸士